

手術部

1 構成員

	平成15年3月31日現在
教授	0人
助教授	0人
講師（うち病院籍）	0人（0人）
助手（うち病院籍）	3人（3人）
医員	0人
研修医	0人
特別研究員	0人
大学院学生（うち他講座から）	0人（0人）
研究生	0人
外国人客員研究員	0人
技官（教務職員を含む）	3人
その他（技術補佐員等）	1人
合 計	7人

2 教官の異動状況

- 横山 徹夫（助教授）（期間中現職）
 三条 芳光（助手）（期間中現職）
 森田 耕司（助手）（期間中現職）
 金丸 哲（助手）（期間中現職）

3 研究業績

数字は小数2位まで。

	平成14年度
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	10編（5編）
そのインパクトファクターの合計	8.02
(2) 論文形式のプロシーディングズ数	4編
(3) 総説数（うち邦文のもの）	0編（0編）
そのインパクトファクターの合計	0.00
(4) 著書数（うち邦文のもの）	4編（4編）
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	2編（2編）
そのインパクトファクターの合計	0.00

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Yokoyama T, Sugiyama K, Nishizawa S, Yokota N, Ohta S, Tokuyama T, Namba H. Neural

activity of the globus pallidus interna and its anatomical relations to the optic tract in Parkinson's disease. Acta Neurochir 144 : 769-776, 2002

2. 横山徹夫, 杉山憲嗣, 西澤 茂, 赤嶺壯一, 難波宏樹: 視床下核と刺激治療. 脳の科学24: 469-473, 2002.

インパクトファクターの小計 [0.957]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

1. Kurita T, Morita K, Kazama T, Sato S: influence of cardiac output on plasma propofol concentrations during constant infusion in swine. Anesthesiology. 96 (6): 1498-503, 2002
2. Koide M, Nishizawa S, Ohta S, Yokoyama T, Namba H: Chronological changes of the contractile mechanism in prolonged vasospasm after subarachnoidal hemorrhage: from protein kinase C to protein tyrosine kinase. Neurosurg 51: 1468-1476, 2002
3. Tokuyama T, Nishizawa S, Yokota N, Ohta S, Yokoyama T, Namba H: Surgical strategy for spondylodiscitis due to candida albicans in an immunocompromised host -Case report- Neurologia Med Chir 42: 314-317, 2002
4. 赤嶺壯一, 横山徹夫, 杉山憲嗣, 西澤 茂, 徳山 勤, 太田誠志, 山口満夫, 難波宏樹: 視床下核電気刺激療法における単極刺激を使用した刺激位置決定の有用性について 機能的脳神経外科 41: 598-602, 2002杉山憲嗣, 横山徹夫, 難波宏樹: 定位脳手術微小電極法 先端医療シリーズ16 脳神経外科 機能的脳神経外科の最先端, 高倉公朋, 菊池晴彦監修, 東京 pp246-252, 2002
6. 杉山憲嗣, 横山徹夫, 難波宏樹, 赤嶺壯一: 視床下核電極設置に伴った幻覚・妄想症状-L-dopa感受性の増大? -. 脳の科学24: 475-480, 2002
7. 西澤 茂, 横山徹夫, 難波宏樹, 竹前 忠: 磁気併用電気インピーダンス法による脳循環測定システムの開発に関する研究 平成12~13年度科学研究費補助金 基礎研究 (C-1) 研究成果報告書 2002

インパクトファクターの小計 [6.584]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの

1. Chen D, Nishizawa S, Yokota N, Ohta S, Yokoyama T, Namba H. High-dose methylpredonolone prevents vasospasm after subarachnoidal hemorrhage through inhibition of protein kinase C activation. Neurosurg Res 24: 215-222, 2002

インパクトファクターの小計 [0.478]

(2) 論文形式のプロシーディングズ

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 三条芳光, 横山徹夫: 麻酔関連請求システムを利用する咽喉心肺関連費用の電子請求. 手術部医学 2003: 23 (2),106-107.

2. 森田耕司, 三条芳光, 横山徹夫: デジタルビデオ配信システムを使用した手術部運営管理. 手術部医学 2003: 23 (2), 97-1100.
3. 谷口美づき, 三条芳光, 他: ECT (electrical convulsion therapy) におけるBIS (bispectral index) 値の変動. Journal of Anesthesia 16.
4. 風間富栄, 三条芳光, 佐藤重仁: 麻酔導入および術前準備必要時間の検討. Journal of Anesthesia 16.

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの

(3) 総 説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの

(4) 著 書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 三条芳光 他21名, 麻酔ワークステーションとは編: 橋本 聡 LANのノウハウ, 真興交易医書出版部, 89-92頁, 全279頁
2. 森田耕司: 呼吸計測装置, MEの基礎知識と安全管理, 179-186, 2002 南江堂, 東京
3. 森田耕司: 麻酔に必要な物理・化学, 臨床麻酔学全書 (上巻), 19-36, 2002 真興交易医書出版部, 東京
4. 森田耕司: Web camによる手術監視システムの構築, 手術室におけるLANのノウハウ, 182-193, 2003 真興交易医書出版部, 東京

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの

(5) 症例報告

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 金丸哲也, 岩本竜明, 加藤孝澄, 五十嵐 寛, 尾藤博道, 今村弥栄子, 左藤重仁: 三叉神経

痛に対する高電位治療器の治療経験,日本ペインクリニック学会誌8巻4号412, 2002

インパクトファクターの小計 [0.00]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. 櫻井美佐子, 金丸哲也, 西野淳子, 小幡由佳子, 森脇五六, 加藤孝澄, 尾藤博道, 佐藤重仁：
左右の星状神経節ブロックにより発作が減少した異型狭心症の1例, 日本ペインクリニック学会誌10巻1号72, 2003

インパクトファクターの小計 [0.00]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

4 特許等の出願状況

	平成14年度
特許取得数（出願中含む）	2件

1. 佐藤重仁, 三条芳光：特願2002-190372 呼吸音可視化モニタ装置, 呼吸音可視化方法及び呼吸音可視化プログラム 出願日：2002年6月28日
2. 三条芳光, 他：特願平05-119140 自動麻酔記録装置 手続き補足書 提出 2003年3月24日

5 医学研究費取得状況

	平成14年度
(1) 文部科学省科学研究費	2件 (240万円)
(2) 厚生科学研究費	0件 (万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0件 (万円)
(4) 財団助成金	1件 (600万円)
(5) 受託研究または共同研究	0件 (万円)
(6) 奨学寄附金その他（民間より）	3件 (363万円)

(1) 文部科学省科学研究費

1. 横山徹夫：視床下核長期電気刺激に伴うドーパミン神経回路可塑性の研究 120万円
2. 森田耕司, 風間富栄：希釈モデルを組み入れた3コンパートメントモデルの構築 120万円

(4) 財団助成金

1. 三条芳光（分担ただし、プロジェクト代表）：特願2001-266555の実用化（生体波形保存管理システム, 生体波形保存管理法および生体波形閲覧法）科学技術振興事業団 トヨタマックス社（600万円, 医大分なし）

6 特定研究などの大型プロジェクトの代表, 総括

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0件	1件
(2) シンポジウム発表数	0件	21件
(3) 学会座長回数	0件	0件
(4) 学会開催回数	0件	0件
(5) 学会役員等回数	0件	1件
(6) 一般演題発表数	5件	

(1) 会議等開催・参加：

4) 一般発表

口頭発表

1. Doi M, Morita K, Sato S, Mantzaridis H, Kenny G: Effects of profound hypothermia on EEG variables, 13th annual meeting of the European Society for Computing and Technology in Anaesthesia and Intensive Care, October 3, 2002, Zurich Switzerland
2. Morita K, Sanjo Y, Yokoyama T: Web-cam contributes to surgery management in operating rooms, 13th annual meeting of the European Society for Computing and Technology in Anaesthesia and Intensive Care, October 4, 2002, Zurich Switzerland
3. Nishizawa S, Koide M, Obara K, Nakayama K, Ohta S, Yokoyama T: Specific attenuation of canine cerebral vasospasm after subarachnoidal hemorrhage by protein kinase C inhibitors despite of augmented phosphorylation of myosin light chain. 70th Annual Meeting of American Association of Neurological Surgeons. 2002.4.6-11 Chicago
4. Yokoyama T: Deep brain stimulation of the subthalamic nucleus for Parkinson's disease. International Neurosurgical Conference in Gonzou. 2002.5.28-30 Gonzou
5. Nishizawa S, Yokoyama T: Surgical strategy for craniopharyngioma. International Neurosurgical Conference in Gonzou. 2002.5.28-30 Gonzou

(2) 国内学会の開催・参加

2) シンポジウム発表

1. 杉山憲嗣, 横山徹夫, 赤嶺壮一, 難波宏樹, 西澤 茂, 徳山勤, 太田誠志, 山口満夫: 視床下核刺激療法における単極刺激と双極刺激による刺激効果の差違. 第41回日本定位・機能神経外科学会2002. 9. 30-10. 1 (松本)
2. 杉山憲嗣, 横山徹夫, 赤嶺壮一, 難波宏樹, 西澤 茂, 徳山 勤, 太田誠志, 山口満夫: 運動機能, 高次脳機能, 精神症状に基づいたパーキンソン氏病に対する手術方針. 第61回日本脳神経外科学会総会2002. 10. 2-10. 4 (松本)
3. 太田誠志, 西澤 茂, 横山徹夫, 山口満夫, 野中雄一郎, 難波宏樹: 巨大下垂体腫瘍摘出後の遅発性可逆性視機能障害 第7回日本脳腫瘍の外科学会 2002. 11. 1-2 (岐阜)
4. 横山徹夫, 杉山憲嗣, 西澤 茂, 赤嶺壮一, 難波宏樹, 東 松秀: パーソナルコンピューターを用いた定位脳手術手術部位の同定法について 第63回日本脳神経外科学会地方会 2002. 11.

9 (名古屋)

5. 西澤 茂, 横山徹夫, 難波宏樹: 聴神経腫瘍に対する手術治療 - 神経機能温存を図るために - 第63回日本脳神経外科学会地方会 2002. 11. 9 (名古屋)
6. 横山徹夫, 杉山憲嗣, 赤嶺壮一, 西澤 茂, 太田誠志, 徳山 勤, 山口満夫, 難波宏樹: 視床下核刺激治療における刺激部位による臨床改善効果の違いに関する検討. 第61回日本脳神経外科学会総会2002. 10. 2-10. 4 (松本)
7. 杉山憲嗣, 横山徹夫, 赤嶺壮一, 難波宏樹: Wearing off, dyskinesia, 幻覚, 開眼失行を示すパーキンソン病患者の一例. 第17回日本大脳基底核研究会 2002. 7. 28 (栃木)
8. 澤 茂, 太田誠志, 横山徹夫, 難波宏樹, 沖 隆: 微小プロラクチノーマに対する治療方針について 第12回日本間脳下垂体腫瘍学会 2002. 2. 5-6
9. 西澤 茂, 太田誠志, 横山徹夫, 難波宏樹: 頭蓋内胚細胞性腫瘍の髄液播種パターンと治療方針 第12回日本間脳下垂体腫瘍学会 2002. 2. 5-6 (東京)
10. 赤嶺壮一, 横山徹夫, 杉山憲嗣, 西澤 茂, 難波宏樹, 磯田治夫, 竹前 忠: 脳深部刺激装置設置患者におけるMRI検査の安全性 第14回関東機能的脳神経外科カンファレンス 2002. 4. 6
11. 太田誠志, 西澤 茂, 横山徹夫, 徳山 勤, 小出昌代, 難波宏樹: 下垂体腺腫における MMP-9, Ets-1発現の免疫組織学的検討 第20回日本脳腫瘍病理学会 2002. 5. 10-11 (広島)
12. 太田誠志, 徳山 勤, 西澤 茂, 杉山憲嗣, 赤嶺壮一, 山口満夫, 横山徹夫, 難波宏樹: グリオーマ手術におけるナビゲーションシステムの有用性と限界 第14回東海脳腫瘍研究会 2002. 7. 27 (名古屋)
13. 赤嶺壮一, 杉山憲嗣, 横山徹夫: 視床下核電気刺激に伴う眼球運動及び眼瞼症状について 第15回関東機能的脳神経外科カンファレンス 2002. 9. 7 (東京)
14. 西澤 茂, 横山徹夫, 難波宏樹: 聴神経腫瘍に対する手術療法 - 神経機能温存を図るために - 第61回日本脳神経外科学会総会 2002. 10. 2-4 (松本)
15. 三条芳光*, 森田耕治, 佐藤重仁: 麻酔記録システムVOCAAR: 13年の経験. 日本麻酔テクノロジー学会 東京
16. 三条芳光, 尾藤博通, 左藤重仁: 新しい全自動麻酔システム制御のための基礎理論. Journal of Anesthesia 16.
17. 猪俣 豊, 三条芳光, 佐藤重仁: 呼吸音可視化モニタの臨床的意義. Journal of Anesthesia 16.
18. 森田耕司, 三条芳光, 由良正幸, 横山徹夫: ウェブカメラ (Web-cam) による手術部画像 (静止画) アーカイバー, 第24回日本手術医学会総会, 2002年10月19日, 東京都
19. 櫻井美佐子 金丸哲也 佐藤重仁: 左右の星状神経節ブロックにより発作が減少した異型狭心症の1例, 第13回東海ペインクリニック研究会 (名古屋)
20. 金丸哲也, 櫻井美佐子, 佐藤重仁: 日本ペインクリニック学会第36回大会 (宮崎) 左右のSGBにより狭心痛が改善された薬剤抵抗性異型狭心症の症例
21. 金丸哲也, 三条芳光, 佐藤重仁: 浜松医科大学手術部における薬品管理システム 第2報, 日本臨床麻酔学会第22回大会 (山梨)

- 5) 役職についている学会名とその役割
 金丸哲也 ペインクリニック学会 評議員

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数はいれない）	0件	0件

- (3) 国内外の英文雑誌のレフリー

9 共同研究の実施状況

	平成14年度
(1) 国際共同研究	0件
(2) 国内共同研究	0件
(3) 学内共同研究	0件

10 産学共同研究

	平成14年度
産学共同研究	2件

1. 三条芳光：呼吸音3次元可視化モニター装置の手術臨床応用の研究開発。 (株)コープランニングとの共同研究
2. 三条芳光：特願2001-266555の実用化（生体波形保存管理システム，生体波形保存管理法および生体波形閲覧法）科学技術振興事業団 トヨタマックス社との共同研究

11 受賞

牧野 洋，三条芳光，佐藤重仁：2002年米国麻酔学会 STAベストアブストラクト賞「Description ability for airway management of the three-dimensional visualization of breath sounds using VISualizing Sound (VISS) color software.」米国麻酔学会（American Society of Anesthesiologists.）

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

13 この期間中の特筆すべき業績，新技術の開発

特許関連

1. 佐藤重仁，三条芳光：特願2002-190372 呼吸音可視化モニタ装置，呼吸音可視化方法及び呼吸音可視化プログラム 特許出願日：2002年6月28日
 2. 三条芳光，他：特願平05-119140 自動麻酔記録装置 手続き補足書 提出 2003年3月24日
- 主要な研究

3. Yokoyama T, Sugiyama ら. Neural activity of the globus pallidus interna and its anatomical relations to the optic tract in Parkinson's disease. Acta Neurochir 144: 769-776, 2002

4. Kurita T, Morita K, ら: influence of cardiac output on plasma propofol concentrations during constant infusion in swine. Anesthesiology. 96 (6): 1498-503, 2002

14 研究の独創性，国際性，継続性，応用性

牧野 洋，三条芳光，ら：2002年米国麻酔学会 STAベストアブストラクト賞「Description ability for airway manegement of the three-dimensional visualization of breath sounds using VISualizing Sound (VISS) color software.」米国麻酔学会（American Society of Anesthesiologists.

三条芳光，他：特願平05-119140 自動麻酔記録装置 が科学技術振興事業団經由にて，Datex-Ohmeda社（フィンランド），BCS社により製品化開発開始。

15 新聞，雑誌等による報道

1. 猪俣 豊，三条芳光他：第49回日本麻酔科学会，呼吸音可視化モニターを開発，上気道閉塞の客観的評価が可能に.Medical Tribune 2002年5月23日